

人・・三浦半島縦断ウォーキング・・人

日時2019年2月27日(水) 天候:曇り一時晴れ 20000歩 約14Km

集合:JR横須賀線衣笠駅 10時

コース:衣笠駅→相模金谷乗降場跡→塚山公園・按針塚→池上隧道→十三峠→田浦梅の里→JR東逗子駅

参加者:吉越(L) 志村(SL) 勅使河原 平嶋 神谷 平石 熊坂 高橋文 小林 森川 井内 伊藤美 小島 福士 桑原
武倉 上曾山 高橋友 内海 三田/特別参加:山岡顧問 計21名

朝方は鉄道各線に大幅な遅れや運休が生じ、衣笠駅に着いた時には心身共に疲労困ぱいで、すでにスタミナが切れていました！私も横浜駅を前に横須賀線内で20分ほど缶詰状態、やっと動いたものの戸塚駅手前でまた停止、逗子駅で出会ったメンバーの顔を見て一安心した次第です。このところ暖かな日和でしたが、今朝は曇り空で肌寒く冬に逆戻りしたような気温となり、固まった身体をストレッチで解しました。僅か四カ月の短命で終わった幻の駅跡から、お馴染みの塚山公園の按針塚へ。ここでランチ後、逸見と浦賀を結ぶ元の浦賀道でもある十三峠から田浦梅の里に。園内の梅は時期を過ぎたのかまだ早いのか・・・花は少なめでした。横須賀線静円寺踏切脇にある石塔は、関東大震災で田浦トンネルが崩壊した際に被災した人々の追弔塔。ここから国道コースと丘陵コースが選択できましたが、皆さん静かな丘陵コースで全員一致！その分やや遠回りとなりましたが、庭先の花々や路傍の水仙を見ながらゴールのJR東逗子駅に到着しました。

<フォトレポート 小島>



田浦梅林で紅梅をバックに全員集合。梅の花にはやはり女性が映えるもの、男性軍は後方に立ってもらいました。でも冗談で“自信のある人は前へ”とは言いましたが、こんなにいるとは・・・まさに“想定外”でした！



朝の衣笠駅。電車の遅れで集まれるか気掛かりでしたが、途中で引き返した一人を除き無事集合出来ました！



近くの公園で熊坂さんのストレッチで固まった身体を解します。(後ろから失礼しました！)



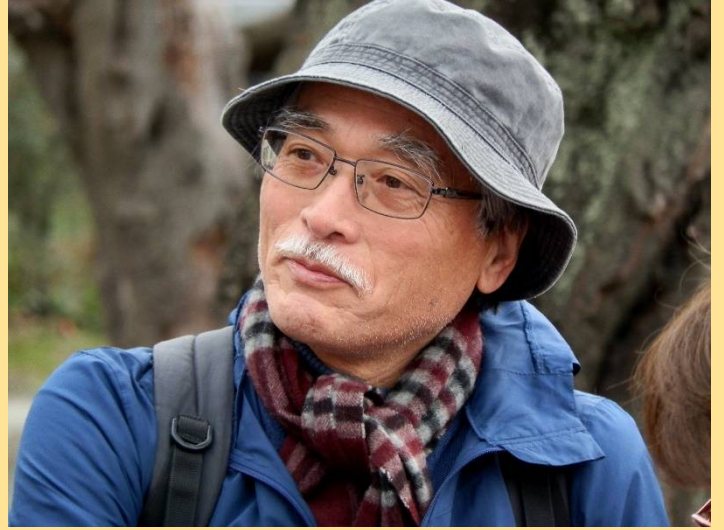
吉越しから本日のコース説明。少々肌寒い！



大判の手作り地図で大変分かりやすいものです。



最近入会した三田さんの紹介も。(山にも強そうです)



久しぶりの山岡さん。今日は特別参加だそうです。



何も変哲のない場所ですが、かつてここには「相模金谷(かねや)仮乗降場」がありました。



<相模金谷駅>

※当時横須賀海軍工廠では、優秀な職工を養成するために教習所を設けていたが、人員の増加に伴い昭和14年に池上に移転、池上教習所とし後に工員養成所と改称した。養成所の周囲には寄宿舍が建設され、八千人以上が徒歩で海軍工廠まで通っていた。しかし昭和19年に横須賀線が久里浜まで延長されたのに伴い、この場所に相模金谷駅という無人の駅が造られた。板張りの粗末な駅で、一般人はここを利用することは出来ず、定期券で通う工員専用の駅だったが、昭和20年4月から8月までの短命で役目を終えた幻の駅。

←当時の池上宿舎(現在の池上中学付近にあった)



お馴染み横須賀菖蒲園入り口。



所々で現在地を確認します。



坂にも負けず御歳にも負けず！



池上隧道の中間点で葉山町に入りました。



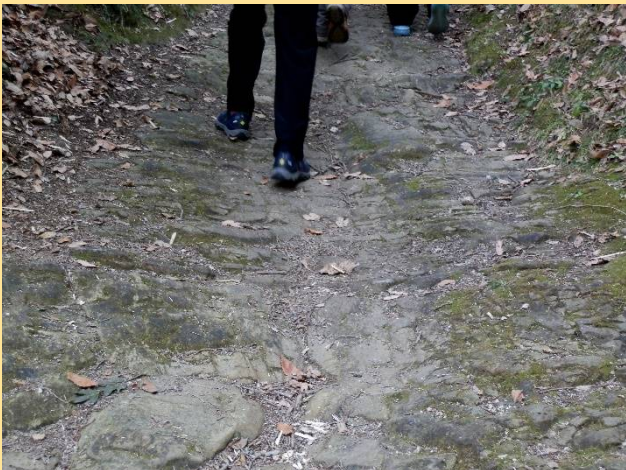
横須賀ICの地下道を潜ります。この先には上りが・・・



ここから塚山公園に入りますよ～お覚悟を！？



急角度の上りが続く。あれ、やや健だった？



雨なら滑りそうな石畳の上り道が続きます。



枯葉を踏んで・・・春が近づき緑葉も増えた。



塚山公園の三浦按針夫妻の墓。左が妻の墓。

※按針については余りにも有名なので詳細は省きますが、徳川家康の信任を得て、この地三浦郡逸見村に250石の領地を与えられ、外交顧問として仕えたほか、航海術等の西洋文明を伝えた。妻は江戸日本橋大伝馬町の名主の娘と言われているが、諸説あり名は定かではない。平戸にて55歳で病死。遺言によりその領地であった逸見村に墓が建てられた。



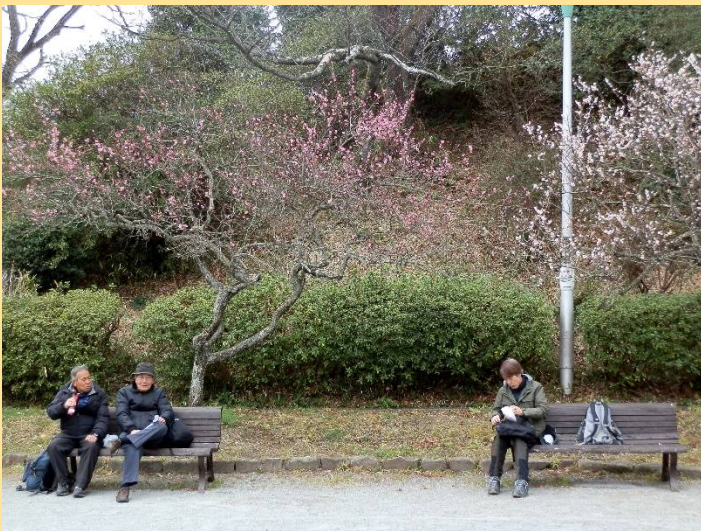
S.Lの志村さんから按針についての説明が。



塚山公園でランチタイム。北風で身体が冷える。



寒さもなんのその、百歳まで頑張るぞ〜



この辺りだけは梅も綺麗でしたが・・・・・・・・・・ 楽しみにとおいた唐揚げをトビに取られた三田さん！
※トビの視力: 弁当を食べていると、いつの間にか上空をトビが輪を描いています。せっかくとおいたのに.....
トビはいつの間にか背後から襲って来ます。何で遙か上空から食べ物が分かるのでしょうか？実はトビの視力は8.0ともいわれ、50m先から0.2cmの肉片が識別できるそうです。皆さんも屋外で弁当を食べるときには、決して「トビに油揚げ」とならぬよう、なるべく上空に目を配りながら食べることにしましょう！ 因みにトビは雑食性、何でも食べるので要注意ですよ。





ランチを終えて午後の部スタートです。



高台からは横須賀本港の艦船群も見えました。



十三峠です。浦賀古道で鬱蒼とした道でした。



ここは明るい下り坂。でもこれだけ急だと足に・・・



田浦梅の里に到着しました。



この看板目立ち過ぎ興奮めかも。



ここで梅林内のコース説明。



また上り！ここを上らないと帰れませんよ～



すれ違う人も少ない急階段。逆なら良かった？



のどかな風景が広がる丘陵沿いの道。



この東屋で小休憩。われ先に座り込む人も。



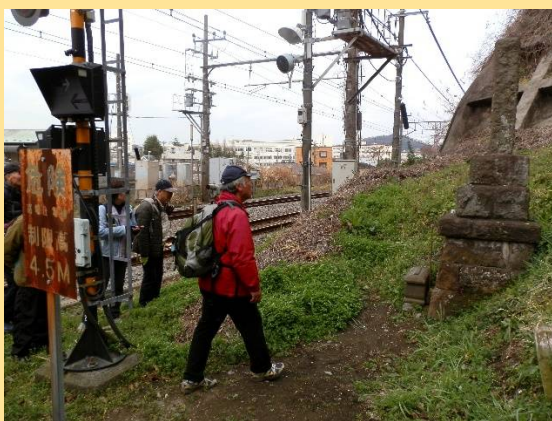
早速女性軍からお菓子の差し入れが・・・いつも御馳走になります。偶には男性軍からも差し入れないかね！



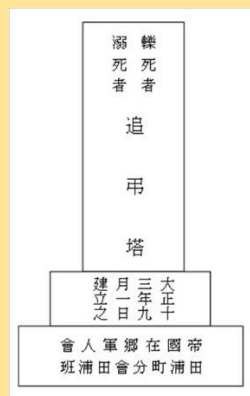
ここでも憎きトビが上空を舞っていました。



桜に比べて梅は地味ですね。でも品は有ります。



清円寺踏切脇にある供養塔・・・



塔の碑文。



ひっそりと佇む供養塔に月日の流れが。

田浦町三号隧道に入った列車に関東大震災が襲い、出口が塞がれて動けず後退したところ、後方も線路が埋没、乗客3名が亡くなった。だがここには轢死者・溺死者とあるのが疑問。列車事故だけでなく、震災の被災者を追弔する意味なのか。



ここで二つのコース提案も結局丘陵コースへ向かう。



寂れた道へ出ましたが、ここは古東海道だそうです。



盛福寺管路すい道は閉鎖。え〜、通れないの？



新しく出来た大山田隧道を潜ります。



今何処？ついて行けばいいさ。



皆さん何か見上げていますが・・・まるでダムのような擁壁。何だ？



白若稲荷前で小休止。いつもすぐ座る人・・・誰？



この付近は崖地が多く住宅もご覧の状態。怖い！



トンネルを出た所でルート確認。どちらへ向かう？



最後は海宝院の門前でクールダウン。東逗子駅へ。

<今日の一言>

今日は陽も射す時間があったが、終日曇り空で風も弱く助かりました。朝は電車の遅れでハラハラし、コースは適度なアップダウンで足にはややキツメでしたが、全員無事に完歩でき何よりでした。ゴールの東逗子駅で思い出すのは、以前大幅な距離延長で、暗くなった山道を小型ライトを照らしての行軍となり、この駅には夕闇に包まれた18時頃到着したことがありましたが、賑やかな隣の逗子駅に比べてローカル感が漂うのも、そんなトラウマのせいかも知れません。

END